

2016 年 2 月 2 日

ほしぞらサロン 11 月議事録

文責：山本親弘

日 時：2015 年 11 月 28 日（土）

20:00～22:00

場 所：プラネタリウム事務所

参加者：砂田、角、立石、山田（明）

（50 音順、敬称略）

職 員：小野田、平野、角田、山本

（計 10 名）

この日サロンの前にクリスマスツリーなどの飾り付けと、クリスマス用の缶バッジの製作を行いました。缶バッジは去年製作したものに加えて、今年新たなものを 1 種類製作しました。

1. 12 月 12 日（土）のほしぞらウォッチング「流れ星」について

12 月 12 日に行われるほしぞらウォッチング「流れ星」¹について、当日の確認をしました。プラネタリウムでの解説は 20～30 分、外での練習は 15～20 分を予定しています。観測の姿勢や様々な観測アイテムを紹介できればということになっています。また、当日は衛星も見ることができるかもしれないという意見も出ていました。

- 当日の予定

19:00～ プラネタリウムでの解説

19:30～ 芝生広場で観察の練習（20:00 までには終了予定）

¹ 詳細は「ほしぞらサロン 10 月議事録」第 1 章を参照。

2. 2月6日（土）の特別観望会について

2月6日に行われる特別観望会²について日時と場所の確認をしました。対象となるのは、スタンプカード金賞・銀賞の方合計33人となっています。

- 当日の予定

19：30～ 観望会（アクアドーム前集合、雨天時はプラネタリウムでの解説）

20：30 終了予定

- 観望場所について

今回のサロンでは観望場所について、芝生のところは夜露で芝が濡れていて足元の状態が悪いので、できれば風の丘近くのコンクリートのところが良いのではないか、といった意見がでました。実際にどのくらい濡れるのかを12月のウォッチングで確認しつつ、1月のサロンで具体的に決めることになっています。

3. 3月9日（水）のほしぞらウォッチング「部分日食」について

来年の3月9日に、日本では部分日食を見ることができます。食の始めは9：56、最大が10：45、食の終わりが11：37となっています。今回のサロンでは、それに合わせて行われるほしぞらウォッチング「部分日食」について話し合いを行いました。

- 当日の予定

9：30～10：00 プラネタリウムでの解説

10：00～11：30 太陽観察（場所未定）

当日の予定について、食の始まりが9：56に対して観察開始時刻が10：00なので、せっかくなので少し10:00より早めに外に出てはどうかという意見が出ました。結果、解説は早めに切り上げて食の始めの時刻から外にでて観察することになりました。

また場所については、3月の太陽高度を確認した上でユリックスの正面玄関前にするかどうかを確定することになっています。

使用機材は、太陽投影板とコロナド、ソーラースコープとなっています。コロナドについては、来場者が少なければ全員に見せることができるので、100～150人の場合のみ使うことになりました。

² 詳細は「ほしぞらサロン8月議事録」第1章第3項、及び「ほしぞらサロン10月議事録」第2章を参照。

4. 3月12日（土）のほしぞらウォッチング「冬の星空」について

来年3月12日に行われるほしぞらウォッチング「冬の星空」（スタンプ対象）について、おもに観望対象の天体について話し合いを行いました。

- 当日の予定

19：30～20：00 プラネタリウムでの解説

20：00～21：30 観望会（場所はアクアドーム前広場）

- 対象天体

話し合いで挙げたものを以下に箇条書きで記述します。

- M44 プレセペ星団
- M45 プレアデス星団（すばる）
- オリオン座（ベテルギウス・リゲル・M42）
- 木星（※3月9日が衝を迎える）

カノープスという意見もありましたが、ウォッチング当日の南中高度は約2.5°なのでアクアドーム前からは少し難しいのではということになっています。

5. 今年度の反省と来年度へ向けて

11月のほしぞらサロンに引き続き、今回もほしぞらウォッチングの来場者数の増加に対するスタッフ数の減少について³話し合いが行われました。スタッフ数が少なくなっているため、来場者を押さえるという方向で、

- ① スタンプカードをどうするか

→スタンプカードを導入した2009年から来場者数が伸びている

- ② スタンプカードはそのまま、認定証及び賞品を無くすかどうか

→認定証のための各回的人数カウントのための人員が必要であるという2点を中心に議論を行いました。

- 山田（明）さん

認定証がある方向でなんとかならないのか。本来の目的（より多くの地域の人たちに星をみてもらう）を考えるのならば縮小よりは現状維持の方が良いと考える。

- 角さん

プラネタリウムでの解説なしで、観望会だけを行うのはどうか。

→ライブ班に割かれている人員を観望会に当てることができる

³ 詳細は「ほしぞらサロン11月議事録」第3章を参照。

また、プラネタリウム的一般投影時に観望会用チケット（引換券）のようなものを渡してはどうか。

→来場者数を制限できる反面、観望会に直接来た来場者に対しての対応が難しい

プラネタリウムでの解説を無くして観望会のみにしてはどうかという意見について、地域の他の観望会などと比べたときに、ここで行う観望会の特色としてはプラネタリウムありきの観望会だ、という意見も出ました。

来年度へ向けて今後も様々な切り口から解決方法を議論していく必要があります。

6. 今後の活動予定について

- 12月12日（土） ほしぞらウォッチング「流れ星」
- 12月19日（土） ほしぞら友の会第9回「ロケット打上」9:30～10:45
- 12月26日（日） ほしぞらサロン・クリスマス会
- 1月 新年会（日時・場所は未定）

次回の「ほしぞらサロン」は、12月26日（土）です。